

科目	音楽Ⅱ
----	-----

担当者名 氏名 星野 沙央里

教 科		芸術	単位数	2	学科・学年	全学科3年（選択）
使用教科書		MOUSA 2（教育芸術社）			副教材等	なし
授業の概要	より幅広い音楽に親しむことにより、音楽を愛好する心情を育む。 保育教育に役立つ音楽基礎力、指導法、弾き語りなどの技術を身に付ける。				学習の目標	1 音楽Ⅰの活動で身につけた技術を伸張し、より深く音楽を理解する。 2 保育音楽科指導法を学習し、実践的指導力を身につける。
学 習 内 容					評価の観点・評価方法等（※学期ごとに下記の項目で評価します。）	
1 学期	1 オリエンテーション 2 楽典 ・音符、休符、音楽記号、音名 3 歌唱、器楽（ピアノ） ・保育曲 4 楽典 ・音程				関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【趣旨】 ・曲想や楽曲の背景等に関心を持ち、主体的に学習に取り組む姿勢が見られる。 【評価方法】 ・授業における態度、提出物、実技への取組、確認テスト等により評価する。 【割合】 ・20%
					創 意 ・ 工 夫	【趣旨】 ・音楽を形づくっている要素の生み出す効果を感じ、それを生かした音楽表現を工夫することができる。 【評価方法】 ・活動への取り組み、授業プリントにより評価する。 【割合】 ・30%
2 学期	5 楽典 ・音階、和音、コードネーム、伴奏付け 6 歌唱、器楽（ピアノ） ・弾き歌い 7 楽典 ・移調 8 創作 ・単旋律の創作				表 現 の 技 能	【趣旨】 ・曲想を楽曲の背景等と関わらせて感じ取り、意図を持って表現するための技能を身に付けている。 【評価方法】 ・実技試験、授業プリントにより評価する。 【割合】 ・30%
					鑑 賞 の 能 力	【趣旨】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの生み出す働きを感じ、言葉で表現することができる。 【評価方法】 ・鑑賞する態度、鑑賞プリントにより評価する。 【割合】 ・20%
3 学期	9 歌唱、器楽（ピアノ） ・ソルフェージュ				そ の 他	
課題提出物等	1 授業において使用したプリント類 2 音楽に関するレポート（長期休業期間）等					
担当者より	音楽の授業では、幅広い音楽に触れ、自分の感性を高めることを目標としている。日常生活では、様々な音や音楽があふれている。ぜひ、自分の身の回りの音や音楽に耳を傾け、新たな発見をしてほしい。 また、授業においては、音楽の分野や授業を受ける態度などにおいて、何か自分が輝けるところを見つけ出してほしい。そのために、様々な音楽を鑑賞したり表現したりするので、積極的に授業に参加すること。					